



### リスクアセスメント実施計画書(共通) 抜粋

工事場所 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県  
 点検施設 ディスポーザーシステム排水処理槽  
 作業社名 株式会社クリーンテックサービス

実施日  
 平成26年4月1日

※ 今、計画は実施中です。  
 事故ゼロを継続し奮闘しています！

安全責任者	現場担当者	現場担当者

作業内容				保護具			電気保安全帽・電気保護手袋・保護メガネ・安全帯・安全柵				
使用機材				資格			酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者・低圧電気取り扱業務主任者				
作業区分	番号	手順	危険性又は有害性	既存の災害防止対策			リスク低減対策案				
				重篤度	可能性	優先度(リスク)	重篤度	可能性	優先度(リスク)		
作業準備	1	健康状態確認	気温上昇により熱中症等で転倒する	現場責任者が十分な水分・塩分の補給及び適度な休息を取る事を指示する	×	△	Ⅲ	現場責任者が十分な水分・塩分の補給及び適度な休息を取る事を指示する	×	○	Ⅱ
	2	処理槽設置ピット内の酸素・硫化水素濃度を計測する	酸素濃度が18%未満になると倒れる 硫化水素濃度が10ppmを超えると倒れる	酸素濃度計・硫化水素濃度計にて測定後作業に入る	×	△	Ⅲ	危険作業主任者は酸素・硫化水素を定時定期位置より測定して基準値を指差呼称で確認し全員に知らせる	×	○	Ⅱ
	3	機械管理スペースの整理清掃	管理スペースには十分な高さがなく、天井に当たりバランスを崩し転落する	安全帯、安全靴及び保安帽を装着する	×	△	Ⅲ	現場責任者は点検者が安全帯を安全ブロックに掛けて使用している事を確認する	×	○	Ⅱ
	4	車両の搬入	搬入に気を取られ対向車・歩行者と衝突する	車両運転者は左右を視差確認し共用内部は最速行運転をする	×	△	Ⅲ	駐車位置まで助手が車外から誘導し指差し呼称で安全を確認する	×	○	Ⅱ
	5	ピット入口の安全	ピット入口開口部に居住者・歩行者が転落する	開口部に転落防止板を仮設設置する	×	△	Ⅲ	転落防止板が所定の位置にあるか指先呼称にて確認する	×	○	Ⅱ
処理槽	6	処理槽の確認	作業担当者が点検材料に踏み槽内に転落する	マンホール付近に不要物を置かず常に自分の体位置を確認する	×	△	Ⅲ	外したマンホール蓋は邪魔にならない位置へ移動し指差確認する	×	○	Ⅱ
			客先点検者が開いている蓋に気づかず槽内に転落する	作業中のマンホール以外はずぐに蓋をする	×	△	Ⅲ	点検担当者は持ち場を離れる急用が生じた場合はカーコン等で危険表示する	×	○	Ⅱ
点検	7	開口蓋	マンホール開口蓋が何らかの衝撃ですれて転落する	ボルト・ナットは確実に締める	×	△	Ⅲ	ボルトの締め付けは実施後、現場責任者が再度確認する	×	○	Ⅱ
	8	ブロワベルトの劣化確認	駆動部に手を挟まれ重傷を負う	機械を停止して確認する	×	△	Ⅲ	低圧電気取扱者はブロワのブレーカーOFFを確認し停電点検中の表示板を表示してから作業する	×	○	Ⅱ
	9	ブロワの過熱・振動・異音の確認	基礎につまづき転倒し骨折する	保安帽を着用する	△	△	Ⅱ	点検担当者は基礎の位置を指差し呼称で確認し点検する	△	○	Ⅰ
	10	エアフィルターの汚れ確認	基礎につまづき転倒する、回転部に手や袖を巻き込まれ重傷を負う	機械を停止して確認する	×	△	Ⅲ	低圧電気取扱者はブロワのブレーカーOFFを確認し停電点検中の表示板を表示してから作業する	×	○	Ⅱ
	11	ブロワのグリースアップ	基礎に踏み転倒する、回転部に手や袖を巻き込まれ重傷を負う	機械を停止しブレーカーを落として作業する	×	△	Ⅲ	低圧電気取扱者はブロワのブレーカーOFFを確認し停電点検中の表示板を表示してから作業する	×	○	Ⅱ
	12	各機器の絶縁・電流測定	誤って電線に触り感電する	無理のない体勢で作業する	×	△	Ⅲ	低圧電気取扱者は予め点検した感電防止用手袋保護帽を装着する装着ヨシ！と確認する	×	○	Ⅱ
	13	場内全体の目視点検を行う	基礎・配管等につまづき、ダクト等に頭をぶつける	保安帽を着用する	△	△	Ⅱ	現場責任者がダクトの危険個所にクッションを取り付けた事を指差し呼称で確認する	△	○	Ⅰ
退出作業	14	水道の水栓、ホースの操作後状態確認	ホースにつまづき担当者や客先点検者が転倒し骨折する	所定の位置に収納する	△	△	Ⅱ	作業責任者が使用後ホースを即時収納した事を確認する	△	○	Ⅰ
	15	弁操作の復旧確認	正常な処理が出来なくなり事故が発生する	各箇所の開閉表示で確認する	△	△	Ⅱ	点検担当者は操作箇所を記録し指差し呼称で確認する	△	○	Ⅰ
	16	制御盤スイッチ・ブレーカ位置確認	誤操作を放置し処理できなくなる	スイッチのOFFはマーカーに合っているか確認する	△	△	Ⅱ	点検担当者はスイッチ・ブレーカの位置を指差呼称で確認する	△	○	Ⅰ
	17	制御盤室・処理施設の施錠及び消灯の確認	鍵をかけた忘れて第3者が侵入する	施錠確認は指差し呼称で確認する	△	△	Ⅱ	点検担当者は施錠・消灯を指差し呼称で確認する	△	○	Ⅰ

### 水物語No8 ベランダに「効果的な打ち水」で清涼感を！

「打ち水」とは江戸時代の庶民の知恵で、その名の通り地面に「水を打つ」ことです。水の気化熱を利用し涼気をとるために行われます。それは「涼しげな感じ」という感覚的な効果だけでなく、およそ「1℃～2℃」程度の物理的な気温減効果が出ています。これは四の五の言わずに鵜のみして、今年の夏は実験・体験してみたいものです。打ち水には場を清める新道的な意味合いもあり、玄関先の打ち水は「日本流来客のおもてなし」です。

植栽への打ち水も効果的です。それは植物が自分自身の体を守るため、限られた水分を効率よく利用して蒸発散により自分の体温を下げる仕組みを持っているからそうです。葉の陰になっている空間の気温は、葉の表面温度よりも更に低くなることから、そこで冷やされた空気が風や対流で拡散し、植物周辺の温度は気温より更に低下します。この現象が植物による「打ち水」効果です。従って、路面等に直接打ち水を行うよりも、植物を植えて打ち水をした方が持続的で効率の良い気温低下が期待できます。

日は沈んだけど、ベランダの熱いコンクリートに打ち水をした。さーっと涼しい風が入ってきて気持ちがいいです。本当は日中一時間おきぐらいにできると効果抜群ですが……。ベランダに水を張った桶かバケツを用意します。その中に水を入れて凍らせたペットボトルを入れます。あ～ら不思議。生温かった風が涼しくなりました。ベランダの打ち水はクーラーの効きが良くなります。ためしてガッテンです！

参考資料 ウィキペディア フリー百科事典



汚泥ゼロ・臭気ゼロ  
 ハイブリッドシステム推進中！  
 株式会社クリーンテックサービス